



1

30. 10. 1

陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（ブルークロマイト）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、連携強化及び共同作戦能力の向上を図る。

2 期間

平成30年10月5日（金）～19日（金）

3 場所

鹿児島県種子島及び同周辺海域

4 担任官

(1) 陸上自衛隊

陸上総隊司令官 陸将 ^{すみだ}住田 ^{かずあき}和明

(2) 米海兵隊

第3海兵師団長 准将 ウィリアム M ジャーニー (William M. Journey)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 部隊

水陸機動団本部、第2水陸機動連隊、第1ヘリコプター団等（約230名）

イ 装備品

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃、偵察用ボート、輸送ヘリコプター（CH-47）等

(2) 海上自衛隊

輸送艦「おおすみ」

(3) 米海兵隊

ア 部隊

第3海兵師団第4海兵連隊第2大隊E中隊等（約90名）

イ 装備品

5.56mm 小銃、7.62mm 機関銃

6 備考

新規の米海兵隊との共同訓練であり、国内で実施する初めての水陸両用作戦に係る日米共同の訓練です。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、西村 (担当)

(03-3268-3111 内線40084)